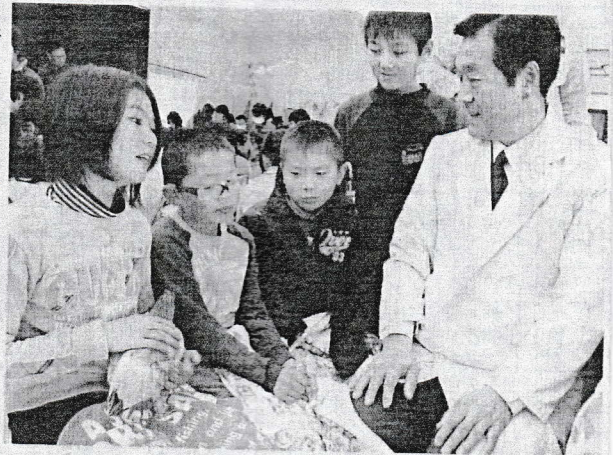


命のぬくもり実感

松山で県獣医師会 講習会

児童ら動物の飼育学ぶ

学校での動物飼育を通じて命の大切さを学んでもらおうと、県獣医師会が27日、松山市清水町3丁目の清水小学校で講習会を開き、児童や教職員らに動物との接し方を手ほどきした。



獣医師(右)の指導を受けてチャボを抱く児童

清水小4年生や県内の小学教諭、獣医師ら約100人が参加。児童は6組に分かれて実際にチャボなどと触れ合った。

講師の日本獣医師会の中川美穂子獣医師(68)が「追い掛けたり蹴ったり、みんなが嫌なことはしないで」とアドバイス。動物飼育で責任感や愛情が育まれると強調し「たっぷり触れ合える環境をつくってほしい」と教諭らに呼び掛けた。

村上和愛さん(10)は「怖かったけど、抱いてみると温かく気持ち良かった」と笑顔。参加した松山市宮前小の西村和子常勤講師(28)は「子どもは感受性が豊か。飼育することで一層愛着が持てるだろう」と話していた。

(長谷川悠介)